

(資料 1)

# 四国森林管理局管内の木材価格等の推移 (最近の動向)

令和 7 年 12 月 16 日  
四 国 森 林 管 理 局

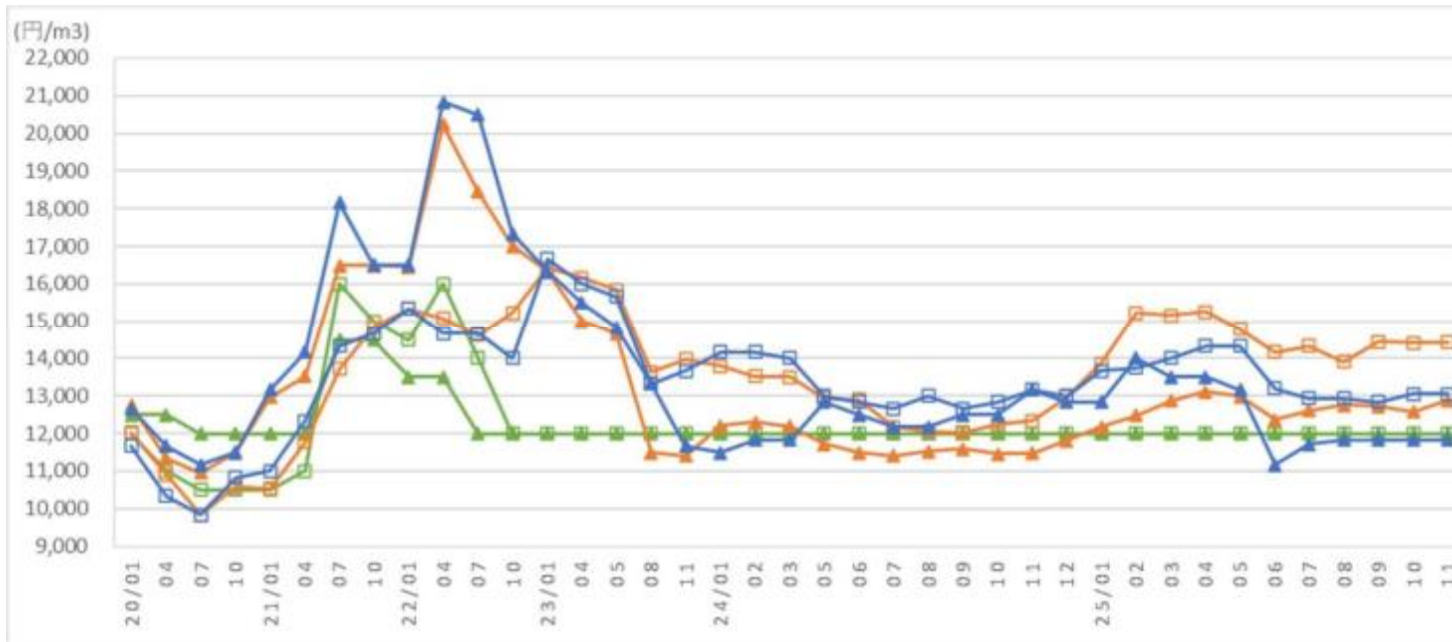
## 目 次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	丸太取扱量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	8
3	製材品価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	9
III	全国の丸太価格の動向・・・・・・・・・・・・	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移・・・・・・・・	12
2	全国の住宅着工戸数の推移・・・・・・・・・・・・	14

# Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

## 1-(1) 丸太価格の推移（スギ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県では6月、7月からほぼ横ばいで推移。
- 徳島県は横ばいで推移。
- 令和7年11月のスギ丸太価格は、高知県で3 mが前年同月比90%。愛媛県では1割～2割高。



○ 11月のスギ丸太価格

(円/m3)

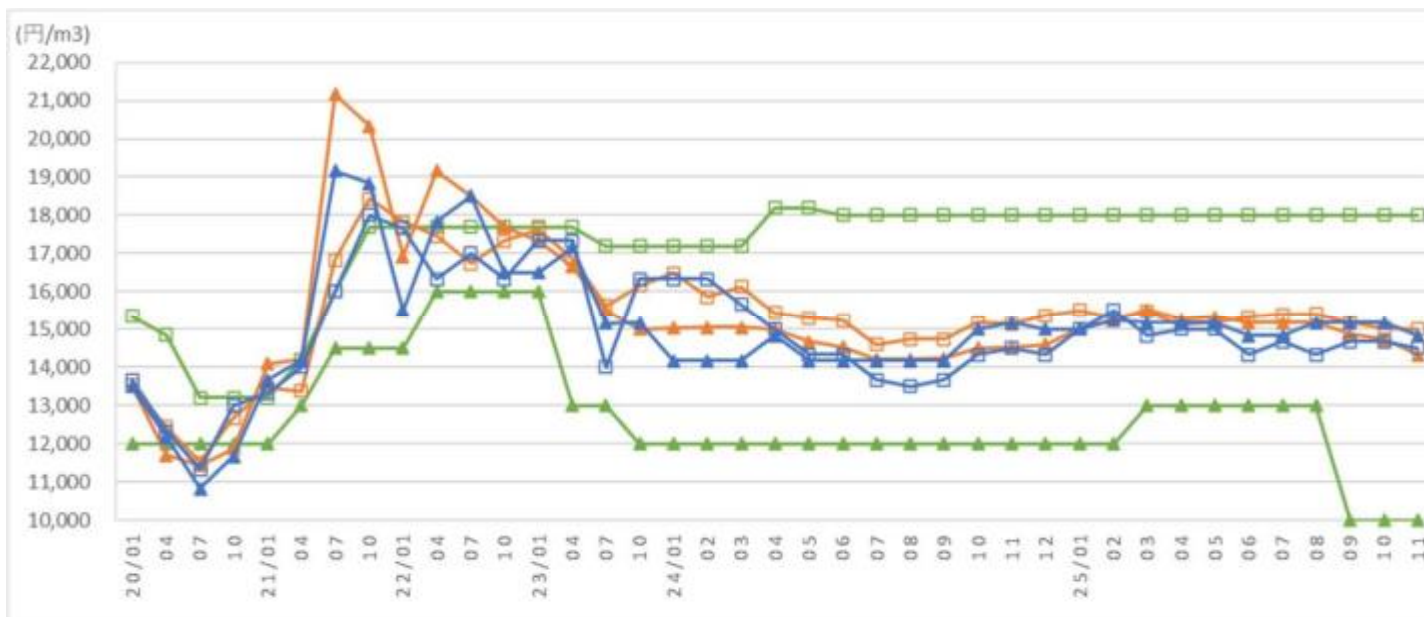
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	12,889	11,482	112%
	□ 4 m材	14,433	12,330	117%
高知県	▲ 3 m材	11,833	13,167	90%
	□ 4 m材	13,056	13,167	99%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格







資料：四国森林管理局調べ

### 1-(2)丸太価格の推移 (スギ、径18cm~22cm 長3 m材・4 m材)

- 愛媛県、高知県はほぼ横ばいで推移。
- 徳島県は3 mが9月に下落して横ばいで推移し、4 mは横ばいで推移。
- 令和7年11月のスギ丸太価格は、前年同月比83%から100%で推移。



### ○ 11月のスギ丸太価格

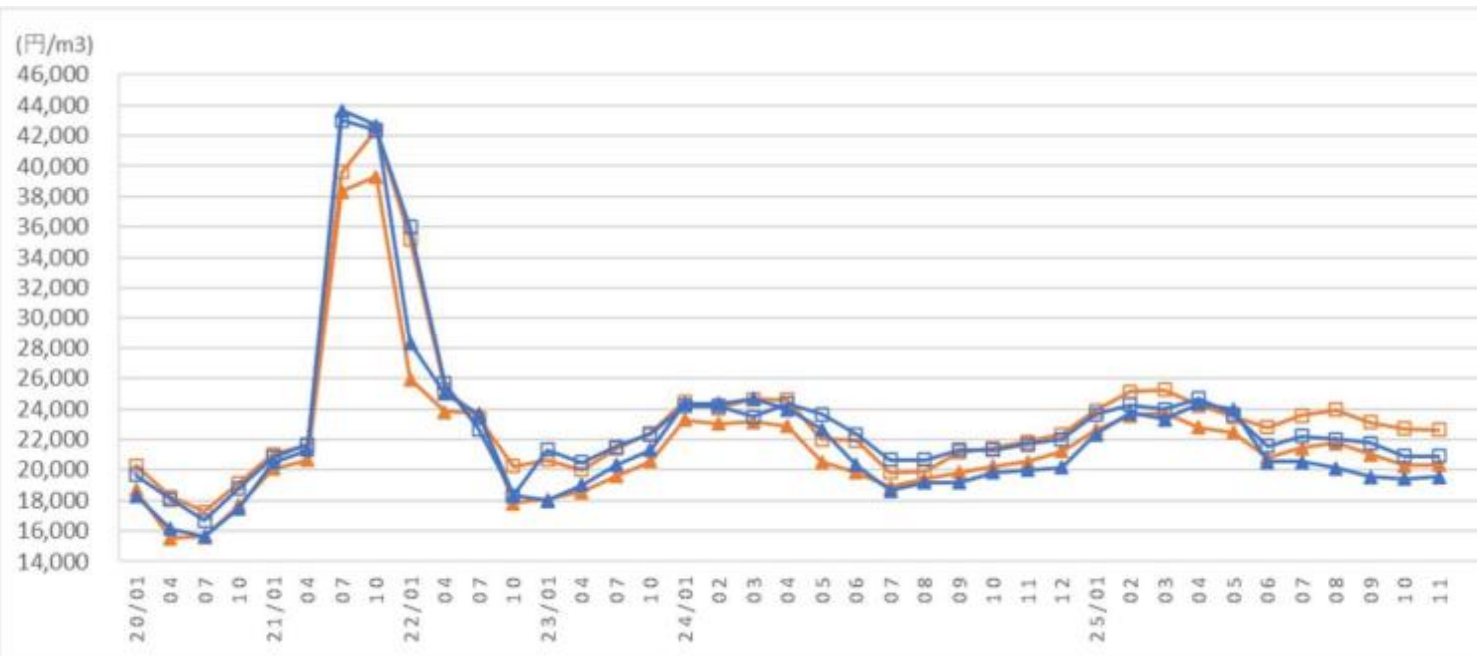
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	 3 m材	10,000	12,000	83%
	 4 m材	18,000	18,000	100%
愛媛県	 3 m材	14,333	14,520	99%
	 4 m材	15,000	15,150	99%
高知県	 3 m材	14,833	15,167	98%
	 4 m材	14,500	14,500	100%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

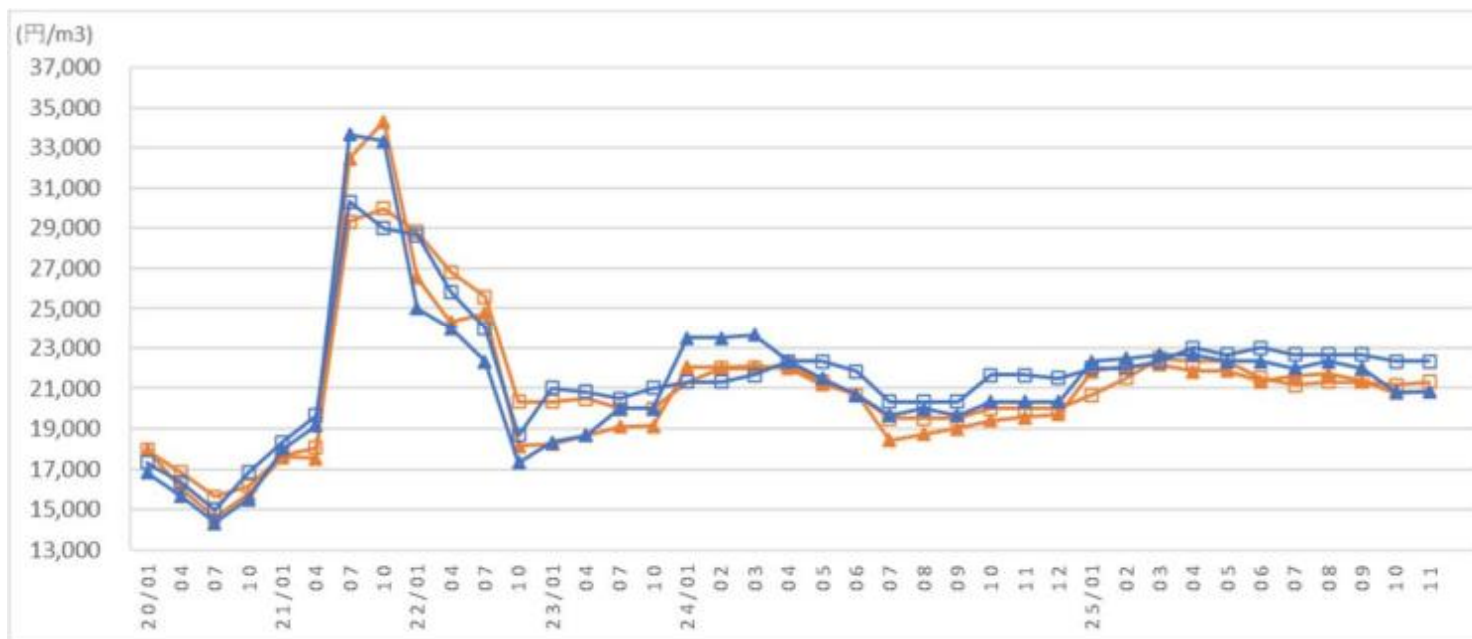
## 1-(3)丸太価格の推移（ヒノキ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも7月、8月からやや下落傾向。
- 令和7年11月のヒノキ丸太価格は、前年同月比96%から104%で推移。



## 1-(4)丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県ともほぼ横ばいで推移。
- 令和7年11月のヒノキ丸太価格は、前年同月比102%から107%で推移。



○ 11月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	20,873	19,567	107%
	□ 4 m材	21,333	20,000	107%
高知県	▲ 3 m材	20,833	20,333	102%
	□ 4 m材	22,333	21,667	103%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

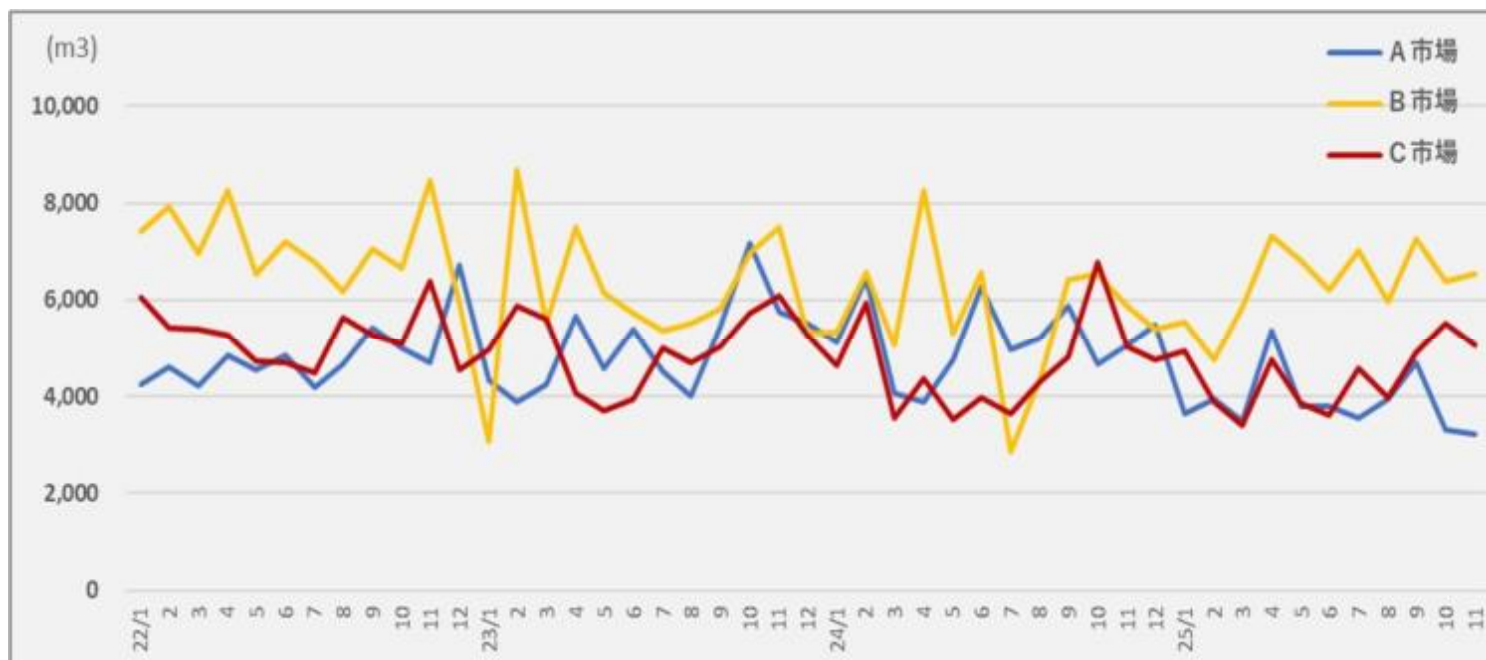
# Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

## 2-(1) 愛媛県内の丸太取扱量

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における11月の丸太取扱量は、前月比97%。
- 直近3か月（9～11月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると92%で、市場によっては72%となっている。

直近3か月（9～11月）の入荷量

	2025年	2024年	前年同期比
A市場	11,233	15,608	72%
B市場	20,186	18,829	107%
C市場	15,459	16,654	93%
計	46,878	51,091	92%



### （市場関係者のコメント）

- ・天候も安定し入荷量は増加傾向。
- ・出材量の多い事業体からの入荷量減。
- ・スギ大径材が強含み。
- ・引き合い良好で、引取りも良い。
- ・今後も出材量は順調に推移し、引き合い、価格についても現状のまま推移すると思われる。

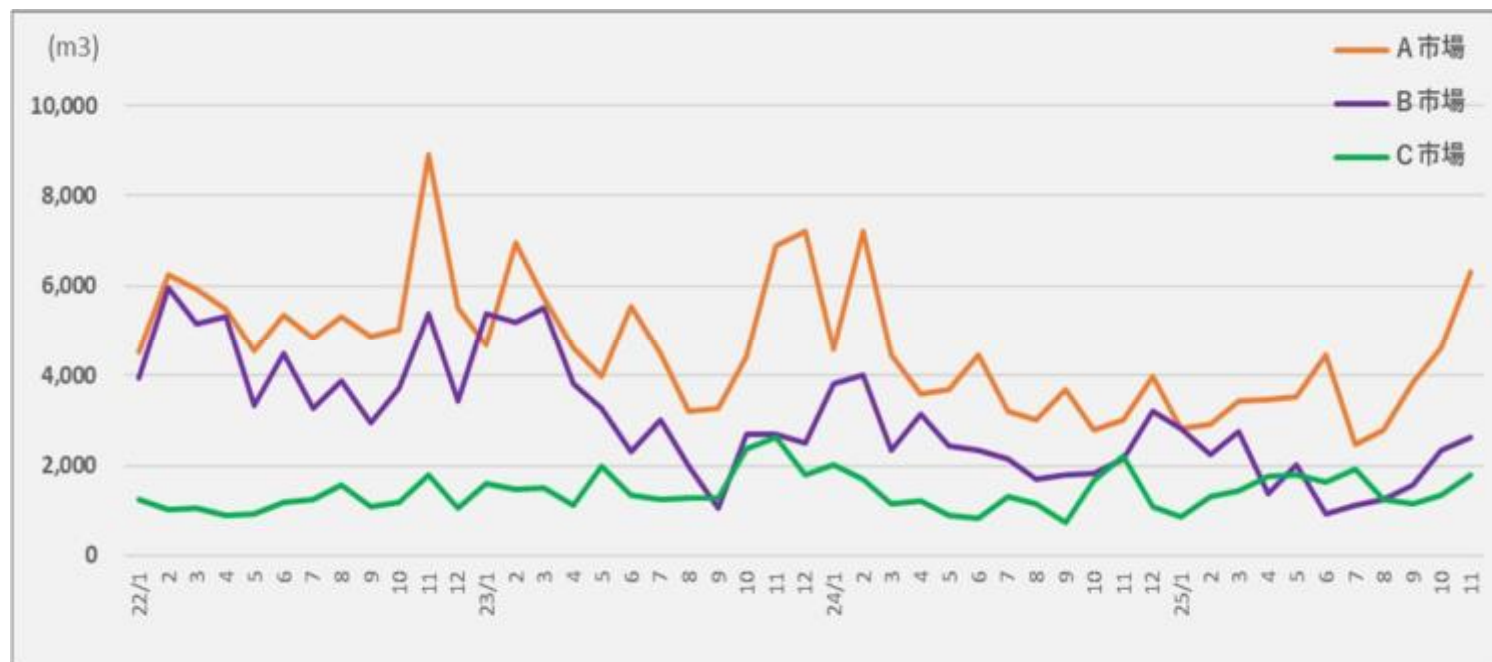


## 2-(2) 高知県の丸太取扱量の推移

- 高知県内の主な原木市場・共販所における11月の丸太取扱量は、前月比129%と増加。
- 直近3か月（9～11月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると129%と増加。

直近3か月（9～11月）の入荷量

	2025年	2024年	前年同期比
A市場	14,795	9,490	156%
B市場	6,565	5,800	113%
C市場	4,300	4,597	94%
計	25,660	19,887	129%



### （市場関係者のコメント）

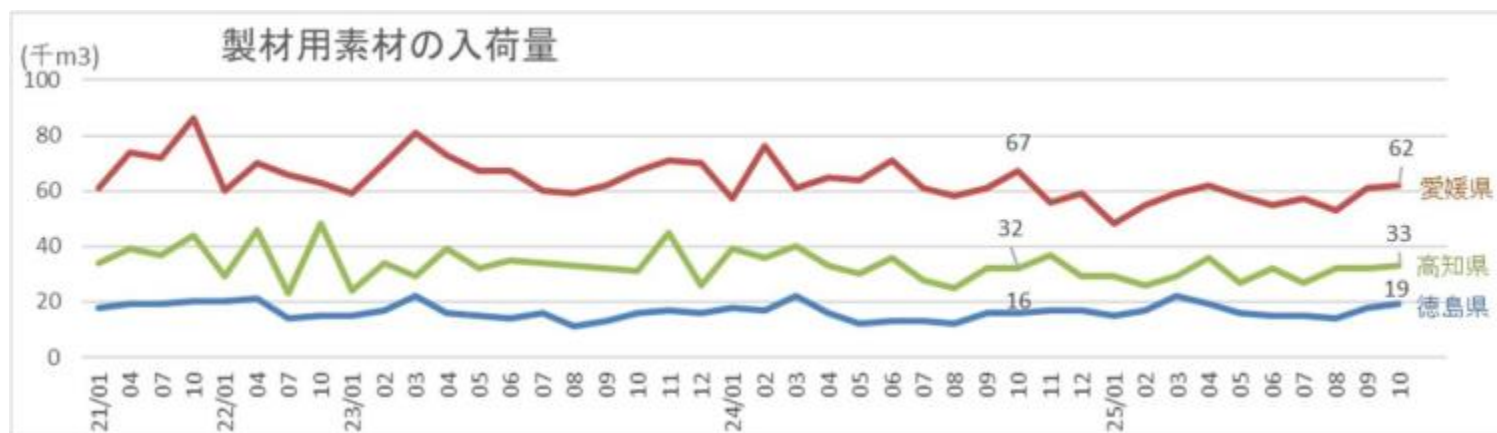
- ・ 入荷量はスギ・ヒノキともに増加傾向。
- ・ 引き合いは強いが、価格は横ばい。材の引取りは良好。
- ・ 今後の出材量は現状で推移する見込みで、価格は横ばい。
- ・ ヒノキは出材量によって値動があるのでは。



## Ⅱ 管内における製材等の状況

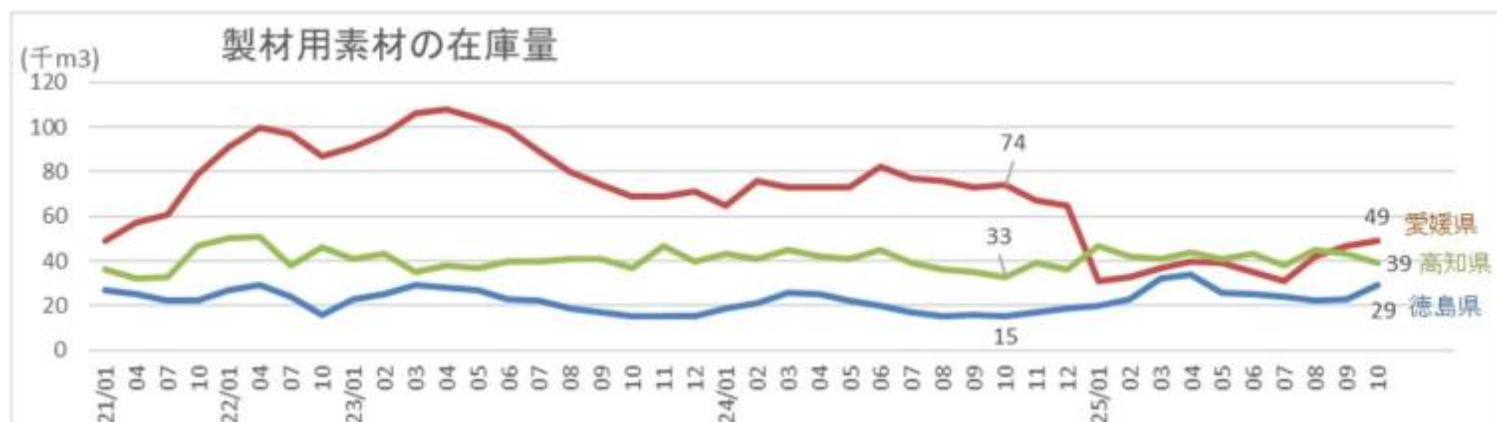
### 1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和7年）

- 四国の8～10月の工場の製材用素材の入荷量は、32万4千m<sup>3</sup>（前年比102%）。徳島県、高知県は対前年比で増加、愛媛県は減少。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、3万8千m<sup>3</sup>（前年比93%）。徳島県、高知県は対前年比で増加、愛媛県は大幅に減少。



（千m<sup>3</sup>）

8～10月製材用素材入荷量			
	2025年	2024年	前年比
徳島	51	44	116%
愛媛	176	186	95%
高知	97	89	109%
四国計	324	319	102%

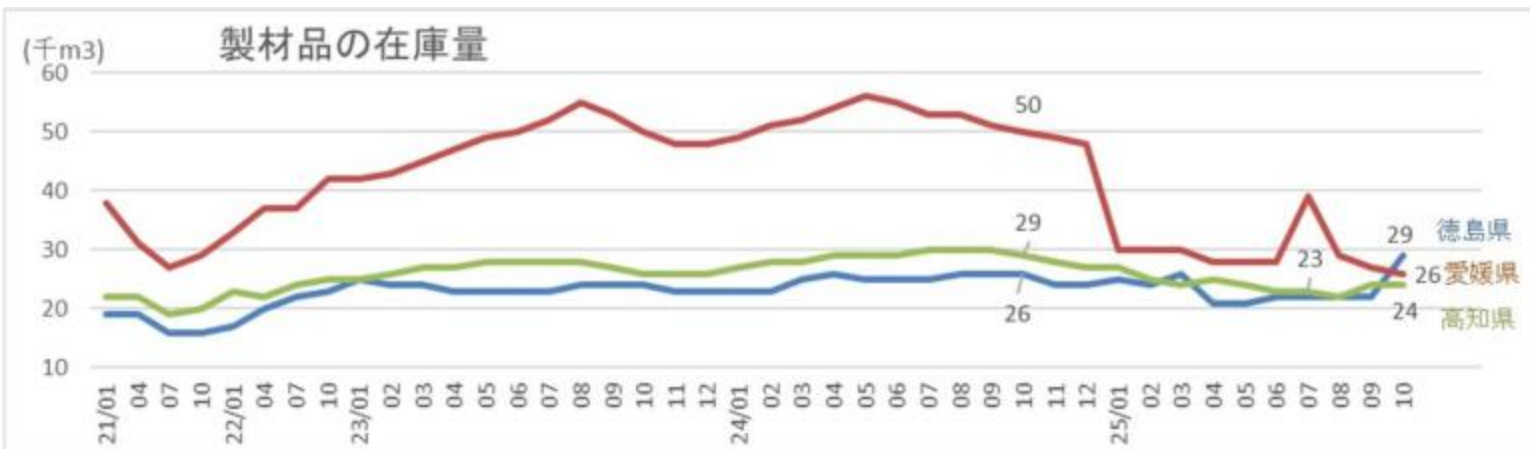
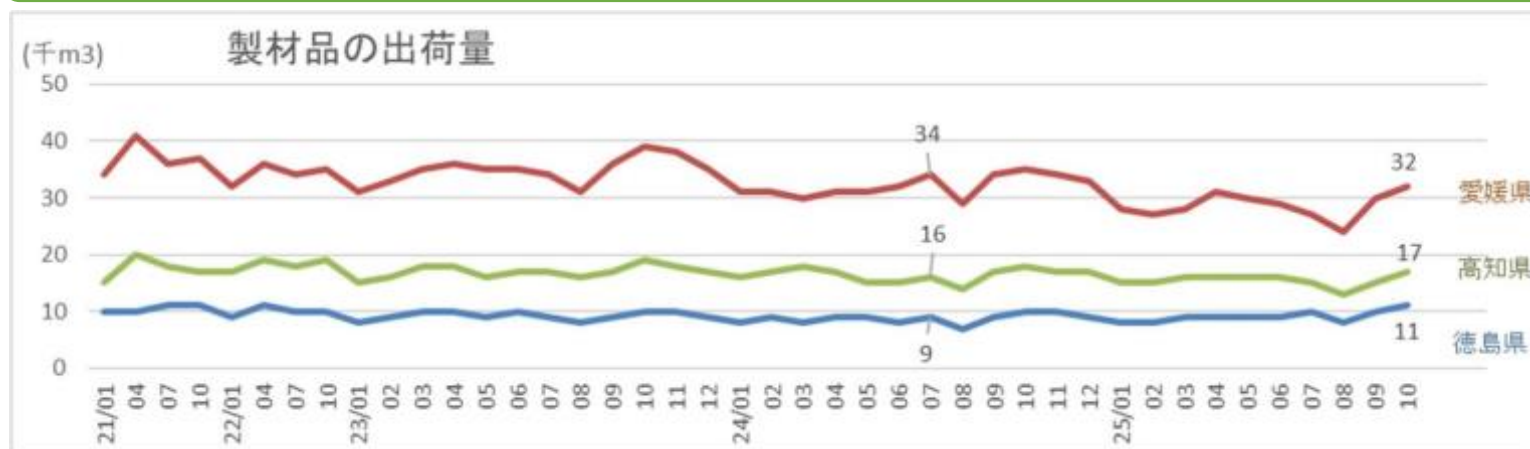


（千m<sup>3</sup>）

8～10月製材用素材在庫量（月平均）			
	2025年	2024年	前年比
徳島	25	15	167%
愛媛	46	74	62%
高知	42	35	120%
四国計	38	41	93%

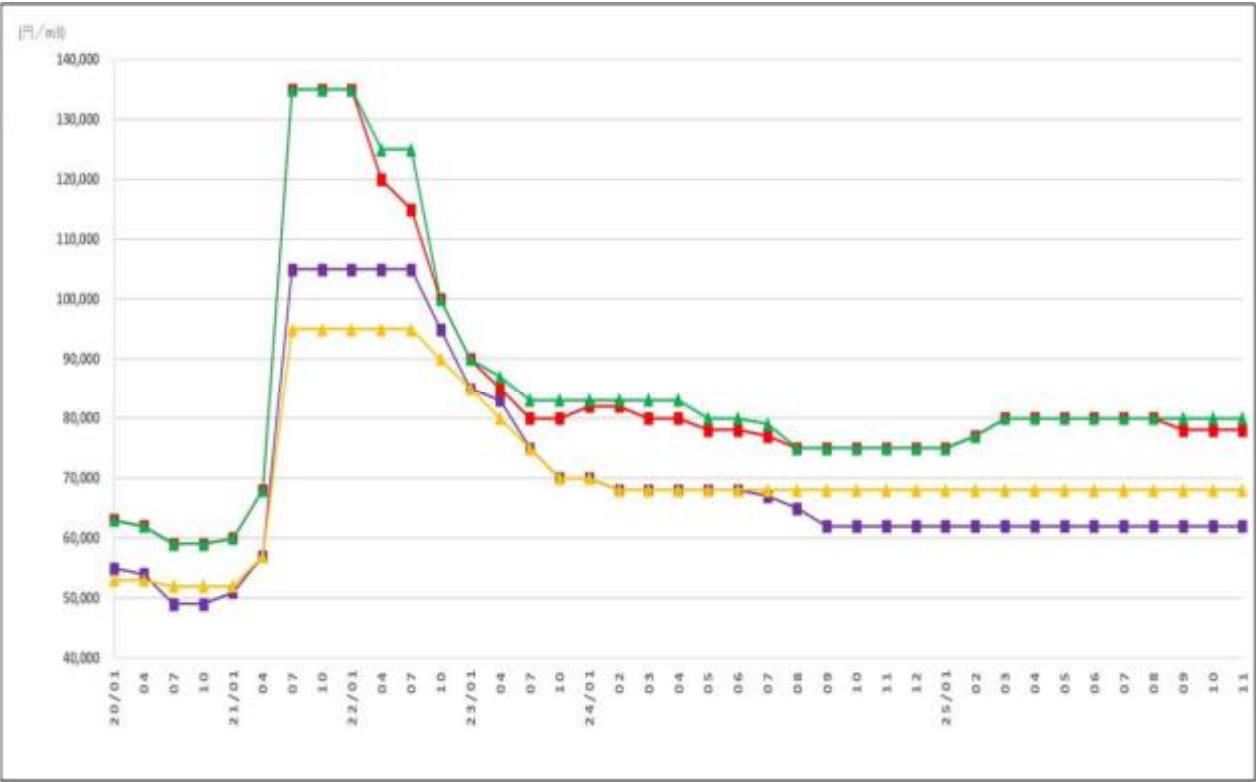
## 2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和7年）

- 四国の8～10月の製材品出荷量は、16万m<sup>3</sup>（前年比92%）。徳島県は対前年比で増加、愛媛県、高知県は減少。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、2万5千m<sup>3</sup>（前年比69%）。徳島県、愛媛県、高知県3県とも対前年比で減少し、特に愛媛県は大幅に減少。



### 3. 製材品価格の推移

- 令和7年に入って、スギは横ばいで推移。ヒノキは2月、3月に値を上げ、以降ほぼ横ばいで推移。
- 前年同月比ではスギは100%。ヒノキは104~107%。

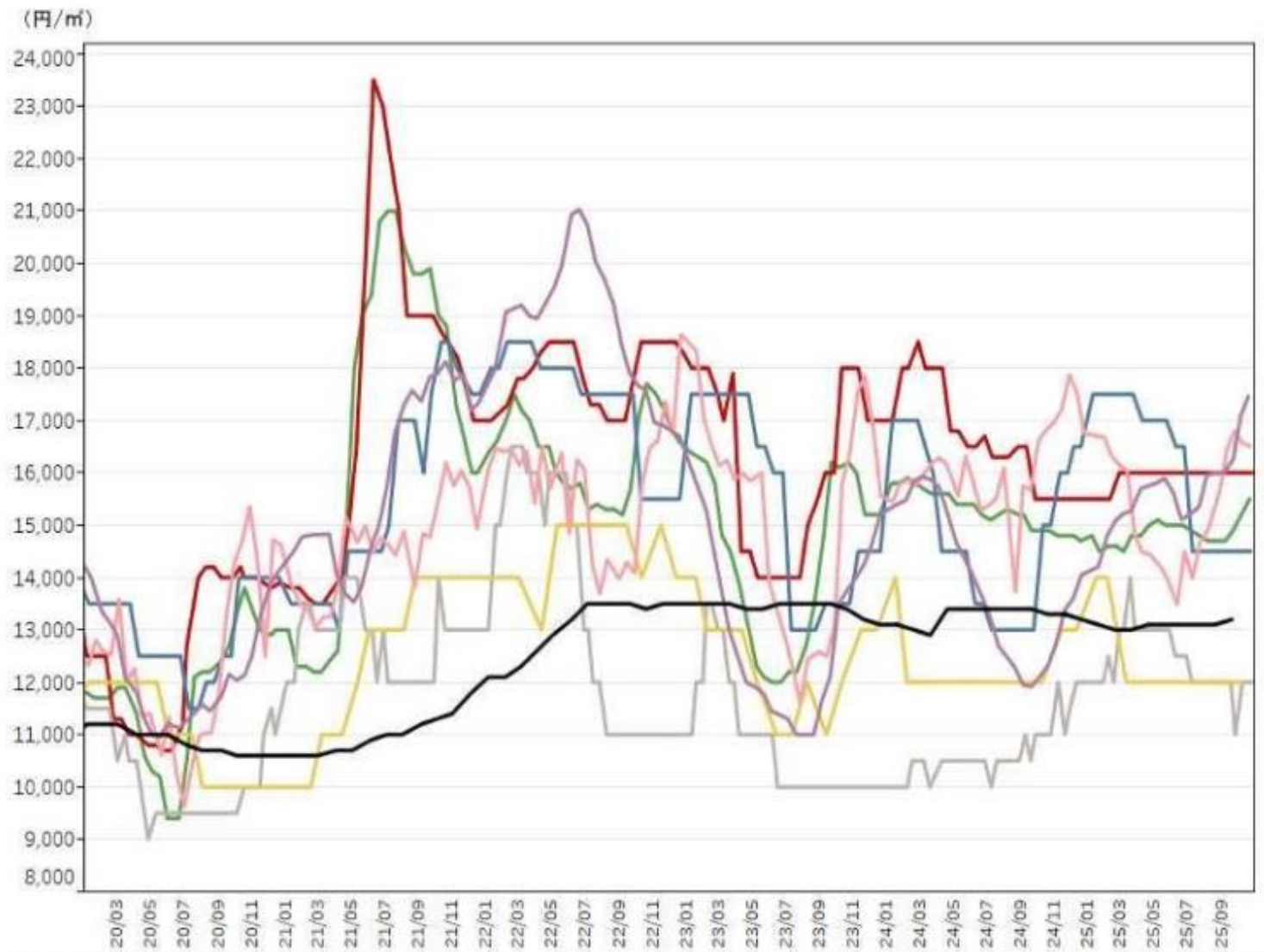


国産材製品の相場（愛媛県）令和7年11月（市売価格）（円／m3）

品目	当月	前年 同月	前年 同月比
スギ柱 3 m×105mm角KD特等	62,000	62,000	100%
スギ間柱 3 m×105×30mm角KD特等	68,000	68,000	100%
ヒノキ柱 3 m×105mm角KD特等	78,000	75,000	104%
ヒノキ土台 4 m×105mm角KD特等	80,000	75,000	107%

### Ⅲ 全国の丸太価格の動向

- ・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～17,460円/㎡となっている。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,200	13,400	99%
秋田県	17,460	12,340	141%
栃木県	16,510	16,820	98%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	12,000	11,000	109%
高知県	14,500	15,000	97%
熊本県	16,000	15,500	103%
宮崎県	15,500	14,900	104%

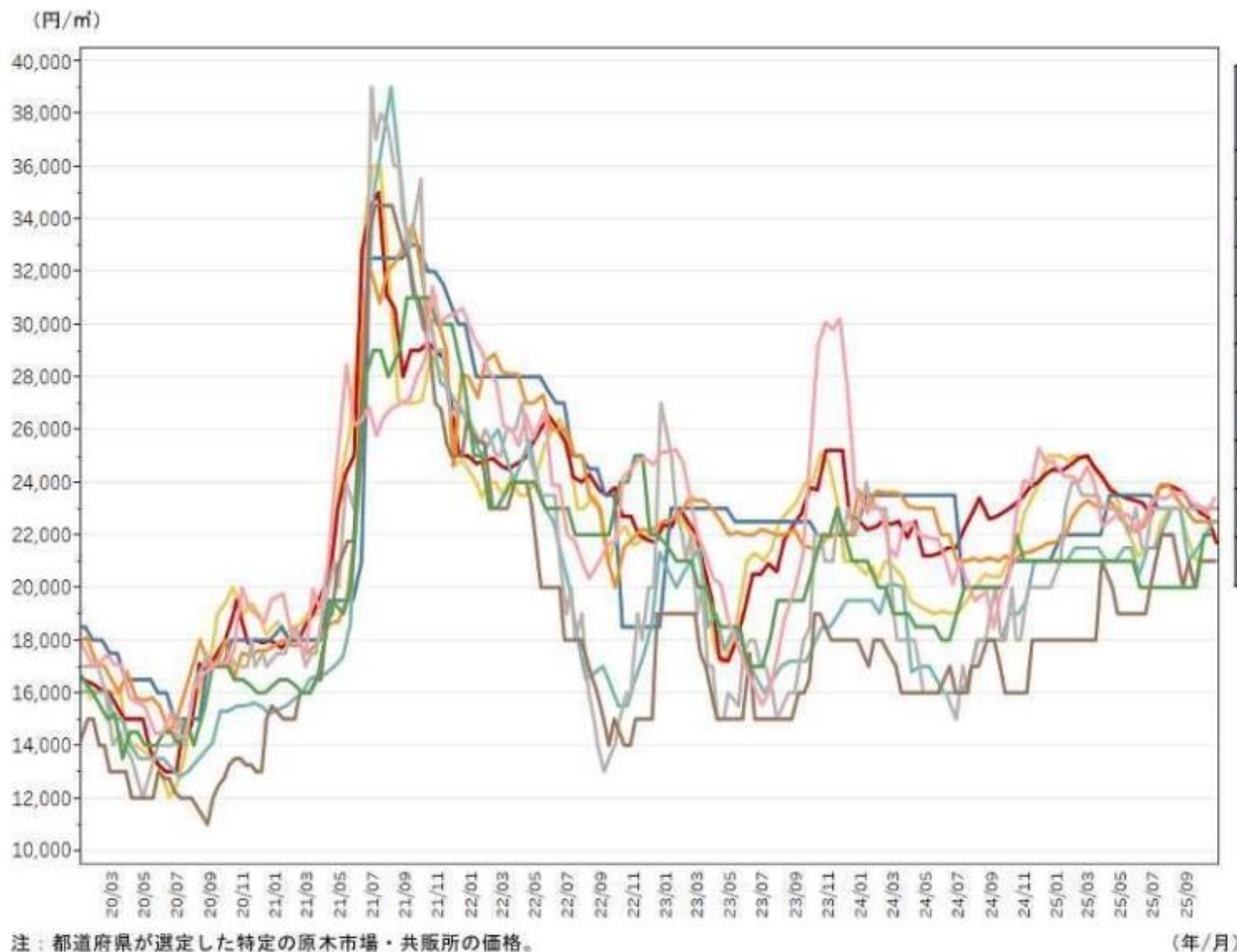
※北海道については9月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については10月の値を使用。

資料：林野庁木材産業課調べ



## イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、**21,000円～23,390円/㎡**となっている。



(単位：円/㎡)

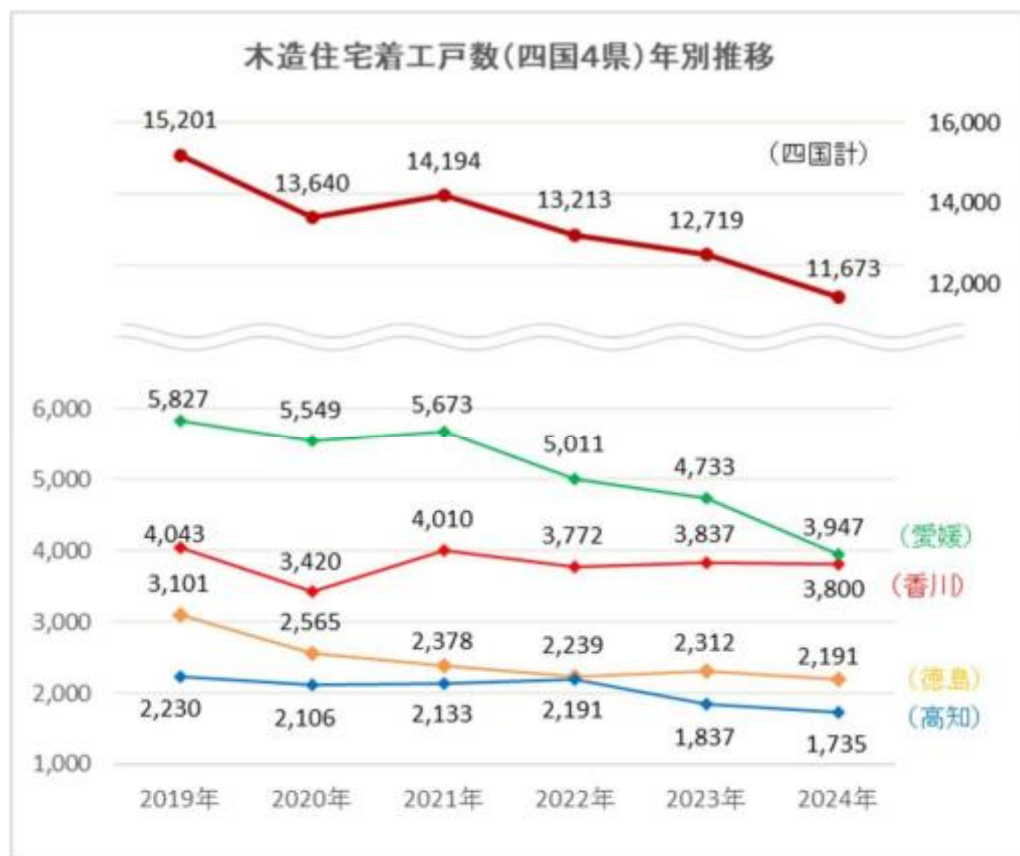
都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	23,390	22,710	103%
静岡県	22,000	22,000	100%
兵庫県	21,000	16,000	131%
岡山県	23,000	18,000	128%
広島県	22,500	19,000	118%
愛媛県	22,500	21,300	106%
高知県	23,000	21,000	110%
熊本県	21,700	23,400	93%
大分県	21,000	21,000	100%

※各県10月の値を使用。

# Ⅳ 住宅着工戸数

## 1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2019年～）

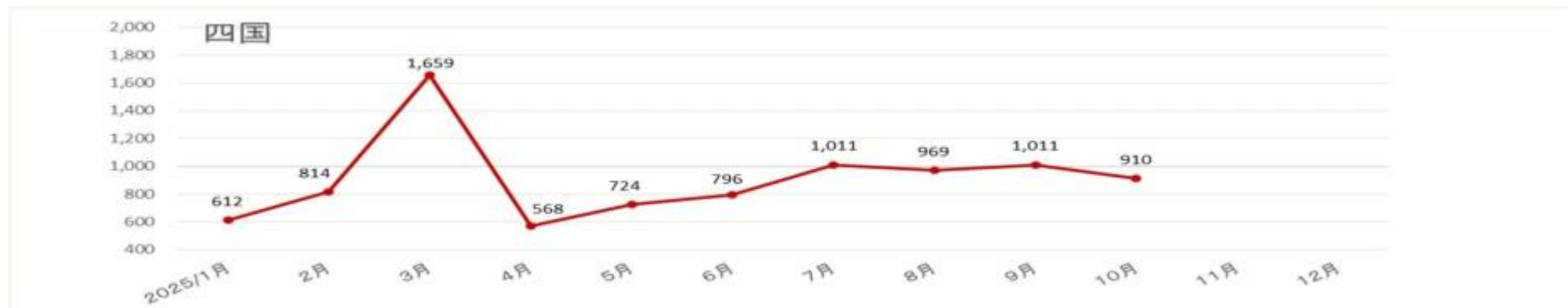
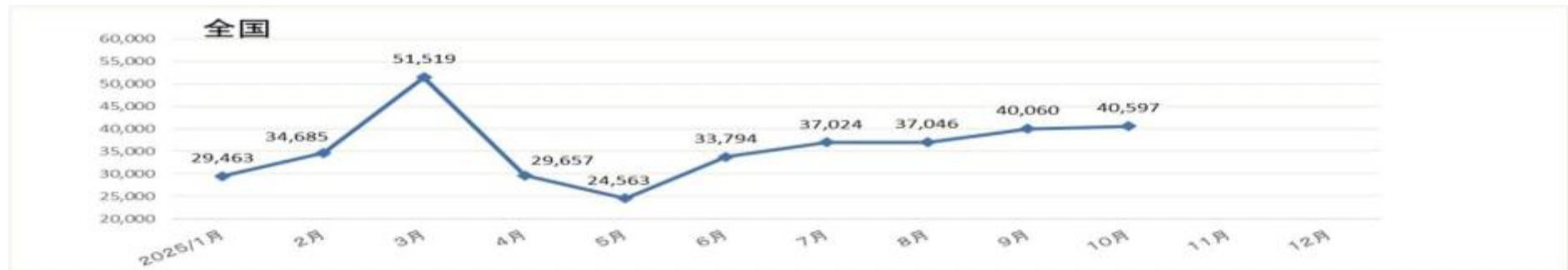
- 2025年10月末現在四国全体では9,074戸（前年比92.2%）。県別をみると、徳島県1,621戸（前年比89.3%）、香川県2,608戸（前年比80.1%）、愛媛県3,327戸（前年比99.3%）、高知県1,518戸（前年比107.1%）



# Ⅳ 住宅着工戸数

## 1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2025年）

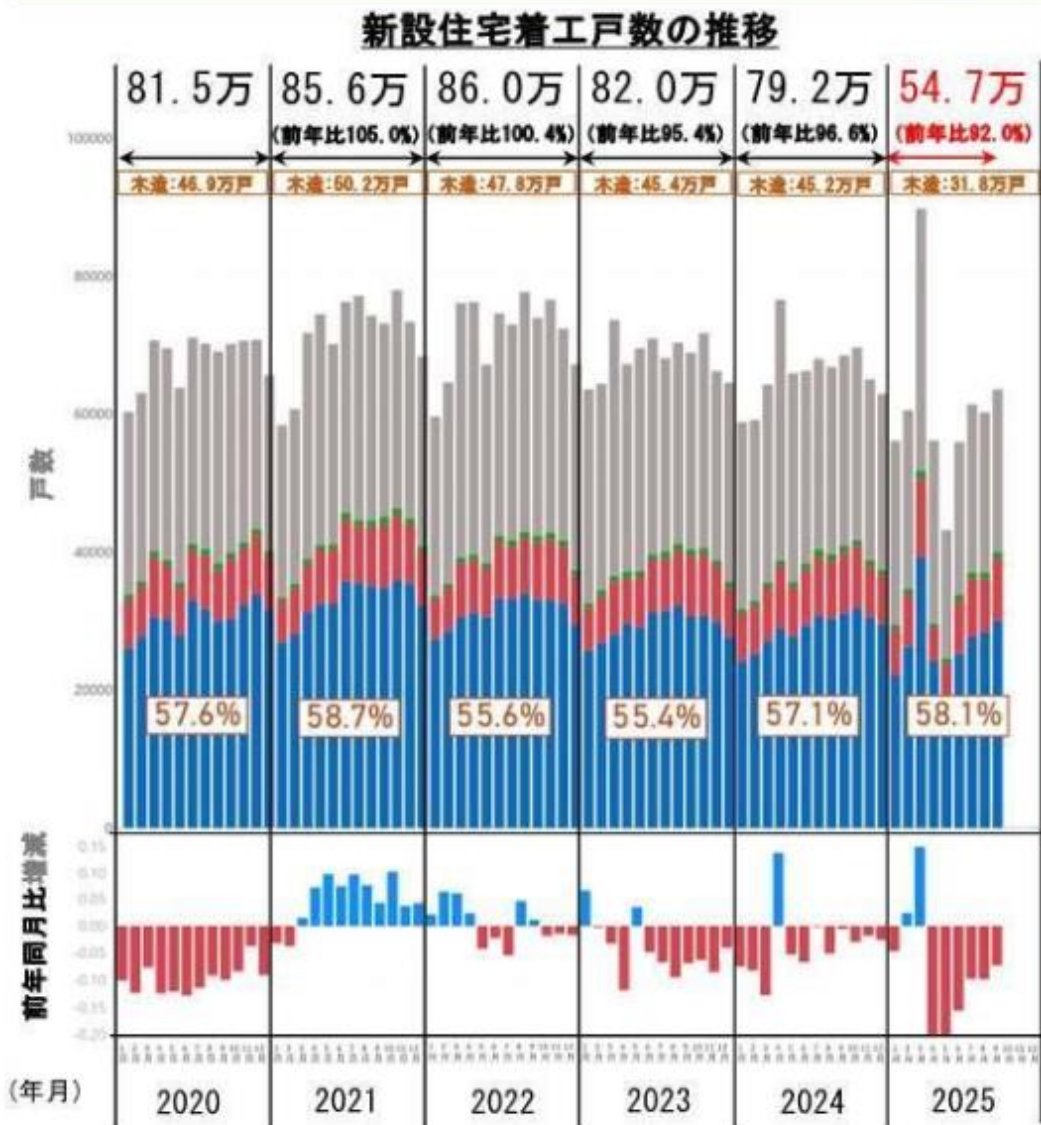
- 3月の建築基準法改正前の駆け込み需要の反動で、4月の四国全体の着工戸数は3月から67.3%と大幅な減少。5月からは回復傾向となり、7月以降はほぼ横ばいで推移している。





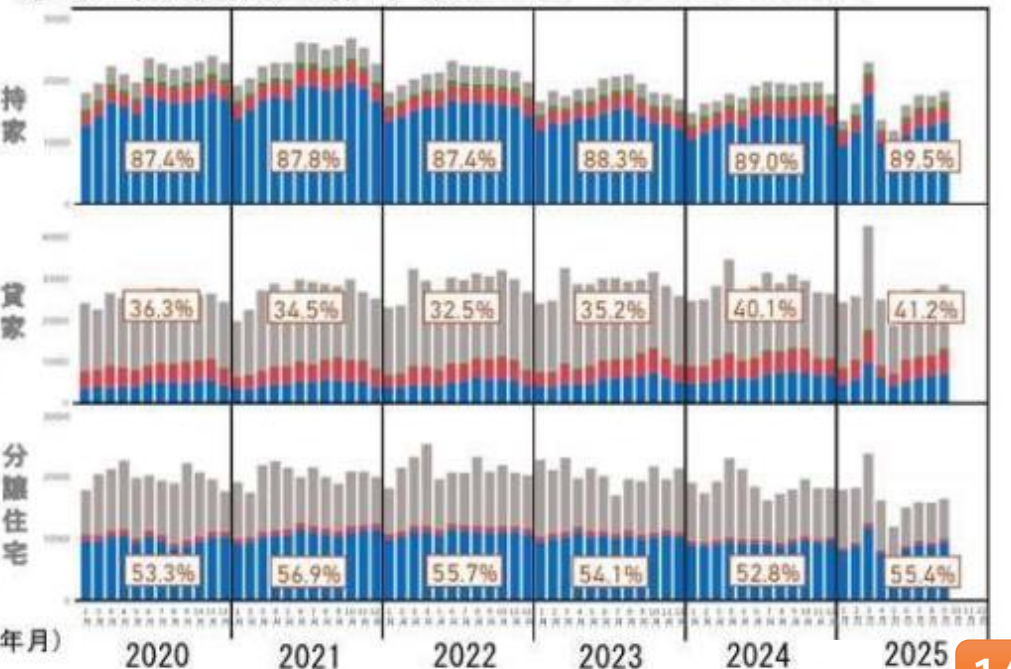
## 2 全国の住宅着工戸数の推移（2020年1月～2025年9月）

- ・ 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- ・ 2025年1～9月の新設住宅着工戸数は54.7万戸（前年同期比92.0%）、このうち木造住宅は31.8万戸（同95.2%）。



構造別の着工戸数	2025年 1～9月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	547,154	594,516	92.0%	617,030	88.7%
■ 非木造	229,024	260,257	88.0%	277,638	82.5%
■ 木造	318,130	334,259	95.2%	339,392	93.7%
■ 木造プレハブ	8,009	7,970	100.5%	7,869	101.8%
■ 2×4	68,438	71,695	95.5%	66,630	102.7%
■ 在来軸組	241,683	254,594	94.9%	264,893	91.2%
□ 木造率	58.1%	56.2%		55.0%	

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



(資料2)

令和7年度 四国森林管理局木材供給量(素材・立木)

○素材生産・販売量は、11月末時点で13.3万m³。12月以降5.4万m³を予定しており、計18.6万m³を予定。

○立木販売量は、11月末時点で4件1.1万m³。12月以降1万m³の公売を予定。

令和7年度 素材供給量(実績) ※( )書きは見込数量

素材材積 (単位:m3)

県	署(所)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	4～11月小計	12月	1月	2月	3月	12～3月小計	計
徳島	徳島			672	798	492	1,218	1,737	1,503	6,420	(300)	(100)			(400)	6,820
愛媛	愛媛	1,336	4,382	2,459	3,629	4,628	6,127	6,068	5,055	33,685	(6,750)	(4,050)	(2,400)	(900)	(14,100)	47,785
高知	四万十	4,030	3,163	5,021	7,096	5,726	9,228	9,010	8,767	52,040	(5,939)	(6,061)	(4,745)	(2,420)	(19,165)	71,205
	嶺北	327	1,740	1,510	1,913	1,964	2,728	2,825	2,484	15,492	(2,400)	(2,400)	(1,400)	(1,000)	(7,200)	22,692
	高知中部	83	947	1,593	1,393	347	164			4,529	(100)	(200)	(200)		(500)	5,029
	安芸	2,128	3,119	2,717	2,461	1,094	3,046	2,733	1,861	19,159	(2,950)	(3,400)	(3,400)	(2,200)	(11,950)	31,109
	小計	6,569	8,969	10,841	12,863	9,132	15,167	14,569	13,111	91,220	(11,389)	(12,061)	(9,745)	(5,620)	(38,815)	130,035
香川	香川事			325	381	118	567	97		1,488			(100)	(200)	(300)	1,788
計		7,905	13,350	14,297	17,671	14,370	23,079	22,471	19,670	132,813	(18,439)	(16,211)	(12,245)	(6,720)	(53,615)	186,428

システム販売 122,407

委託販売 62,250

令和7年度 立木販売量(実績) ※( )書きは見込数量(公売公告予定数量)

立木材積 (単位:m3)

県	署(所)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	4～11月小計	12月	1月	2月	3月	12～3月小計	計
徳島	徳島								1,651	1,651						1,651
愛媛	愛媛															
高知	四万十			2,610	4,523					7,133		(1,500)	(1,500)	(2,000)	(5,000)	12,133
	嶺北															
	高知中部															
	安芸												(1,500)	(1,500)	(3,000)	3,000
	小計			2,610	4,523					7,133		(1,500)	(3,000)	(3,500)	(8,000)	15,133
香川	香川事							1,942		1,942		(1,000)	(1,000)		(2,000)	3,942
計				2,610	4,523			1,942	1,651	10,726		(2,500)	(4,000)	(3,500)	(10,000)	20,726

# 「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料3)

## 分析結果

### (ア)木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年7月～令和7年10月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

### (イ)木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和7年7月～令和7年10月)

【スギ中丸太】 ・ 9月以降、5ヶ月連続下落、上昇した動きはない。

【ヒノキ中丸太】 ・ 5ヶ月連続下落、上昇した動きはない。

### (ウ)木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年7月～令和7年10月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

### (エ)木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和7年7月～令和7年10月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

### (オ)製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和7年7月～令和7年10月)

【徳島県・愛媛県スギ】・8月以降、定常範囲を逸脱した動きはない。

【愛媛県・高知県ヒノキ】・8月以降、定常範囲を逸脱した動きはない。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

#### [判断基準・指標]

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ: 「国内企業物価指数」(日本銀行統計)  
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

## ○ 丸太価格、在庫率の変動

### 1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.79%				逸脱下限値 -5.82%				逸脱上限値 22.06%				逸脱下限値 -22.22%				逸脱上限値 17.77%				逸脱下限値 -18.97%			
	前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）											
	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月
スギ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）	1.51%	1.13%	-1.35%	-2.24%	7	8	-1	-2	14.08%	15.93%	15.75%	15.86%	8.78%	10.89%	9.93%	9.10%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

### 2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 8.89%				逸脱下限値 -9.08%				逸脱上限値 39.20%				逸脱下限値 -39.98%				逸脱上限値 28.83%				逸脱下限値 -32.19%			
	前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）											
	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月	7 月	8 月	9 月	10 月
ヒノキ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）	-1.41%	3.42%	-1.20%	-6.44%	-2	1	-1	-2	7.96%	14.62%	13.37%	10.29%	0.40%	6.38%	5.77%	1.72%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

### 3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値		逸脱下限値	
	7 月	8 月	9 月	10 月				
スギ製材用素材（徳島・愛媛）	0.75	0.88	0.96	1.06	1.86		0.77	
ヒノキ製材用素材（愛媛・高知）	0.79	1.00	1.03	1.00	1.57		0.86	

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。